

つなぐ

Vol.35

2020.9月

今年当院で、循環器内科と脳神経外科の合同カンファレンスがスタートした。

これまでの脳梗塞の予防は、脳神経外科による薬物治療や血管拡張の手術が行われていた。近年、左心耳閉鎖術WATCHMANや卵円孔開存閉鎖システムPFOオクルーダー、脳梗塞の原因となる不整脈を突き止めるための植え込み型心電図などの登場によって循環器内科領域での脳梗塞予防が可能になり、2つの診療科の連携は、脳梗塞の再発リスクを低減するために重要な意味を持つようになった。

また、脳神経外科の医療技術を循環器内科に提供する連携も始まっている。大動脈弁狭窄症へのカテーテル治療TAVIのハイブリッ

ド治療バルブインバルブ施術時には血栓や汚れが血流の流れに乗って、脳の血管を詰まらせ脳梗塞を発症する可能性がある。これを未然に防ぐために脳神経外科が頸動脈や椎骨動脈でフィルターワイヤーを展開させ血栓や汚れを回収するなど、互いの医療技術を組み合わせることで新しい脳梗塞の予防治療が誕生している。

これからも新デバイス登場により、脳卒中や心疾患診療を取り巻く環境は急激に変化していくだろう。しかし、共に地域のハイブリウムセンターである循環器内科と脳神経外科がつながること、その変化に迅速に対応し、さらなる進化を遂げる可能性がある。未来の医療をいち早くこの地域に提供するために、私たちは診療科の垣根を越えていく。





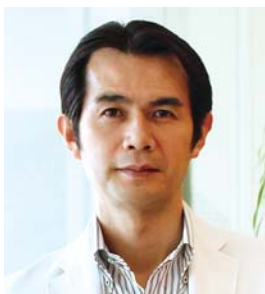
第44回

小倉循環器内科セミナー

2020年 9月30日(水) 18:00~18:40

脳卒中は予防できる時代に

座長／小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児



01 【講演】

「当院における脳心連携」

～ブレインハートチームによる脳卒中予防～

講師／小倉記念病院 脳卒中センター長 波多野 武人



02 【講演】

「WATCHMAN 1周年

何がわかってきたか？」

講師／小倉記念病院 循環器内科 副部長 福永 真人

参加方法



Zoomによる
web参加のみとなります！

zoomの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研修会→④Zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

